

## ギャラリー：鳥の羽根の微細構造

構造色の仕組みには、光の波長(1mmの2000分の1くらい)程度の小さな小さな形(構造)が関係している。それはあまりに小さいため、通常の光学顕微鏡では観察することができない。しかし、20世紀の前半に電子顕微鏡が開発されると、微細構造を観察することが可能となった。その後、様々な種類の鳥において、羽根の内部に秘められた構造が明らかになってきている。その一部(とはいえかなりの範囲を含む)を、これまでに発表された論文から引用して紹介する。下の写真はその一例で、クジャクの羽根の内部に存在する細長い顆粒の配列である。この奇妙な細長い物体が輝く色の源であるとは、なんとも驚きではないだろうか。

